



2022年3月10日

各位

会社名 INCLUSIVE 株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 誠
(コード番号：7078 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 CFO 本間 紀章
(TEL 03-6427-2020)

新会社設立に関するお知らせ

当社は、宇宙関連事業の開発を目的として INCLUSIVE SPACE CONSULTING 株式会社（本社：北海道、代表取締役社長：藤田誠、以下「ISC」）を設立することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 新会社の設立の理由

世界の宇宙市場は年々拡大を続けており、「将来宇宙ロードマップ検討会（KEARNEY 社）」の資料によると、2018年時点で約40兆円規模の市場が2040年には波及効果も含め約160兆円規模になるとの予測がされています。特に、通信衛星のメガコンステレーション（大規模衛星網）化による波及効果が大きく、IoT やインターネット経済の拡大をはじめとする他産業への経済効果が、宇宙関連産業の成長を牽引すると見込まれています。

こうした市場環境の中で、ISC は衛星データ利活用を主軸として、宇宙技術で既存産業を変革する「SX（スペーストランスフォーメーション）」を推進し、既存産業の効率化と課題解決を提供してまいります。

当社と資本提携しているインターステラテクノロジズ株式会社（以下「IST」）の代表・稲川貴大氏がISCの社外取締役として参画することで、IST およびその子会社である Our Stars 社との連携をさらに強化し、企業や自治体に対する衛星打ち上げ・運用支援のサービスも展開していく予定です。

2. 設立する新会社の概要

(1) 名称	INCLUSIVE SPACE CONSULTING 株式会社
(2) 所在地	北海道（予定）
(3) 代表者の役職及び氏名	代表取締役 藤田 誠
(4) 事業内容	衛星データ利活用による企業、自治体へのコンサルティング業務等
(5) 設立年月	2022年4月（予定）
(6) 資本金	3,000 千円
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社が 100%を出資する連結子会社となります。
	人的関係	当社代表取締役が新会社の代表取締役を兼務します。
	取引関係	当社グループと取引を行う予定です。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2022年3月8日
(2) 会社設立日	2022年4月(予定)

4. 今後の見通し

本件は、東京証券取引所の定める適時開示基準に該当しません。新会社の設立は、当社の企業価値の向上に繋がるものと考えておりますが、現時点では、当社の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上

【参考：2022年3月9日付弊社プレスリリース】

報道関係者各位

2022年3月9日
INCLUSIVE 株式会社

INCLUSIVE、宇宙事業開発会社「INCLUSIVE SPACE CONSULTING (ISC)」を設立

人工衛星データ活用コンサルティング等を提供、社外取締役に IST 代表の稲川貴大氏



INCLUSIVE 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤田誠、以下「INCLUSIVE」）は、宇宙関連事業の開発を目的として INCLUSIVE SPACE CONSULTING 株式会社（本社：北海道、代表取締役社長：藤田誠、以下「ISC」）を設立することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

ISC は人工衛星から得られるデータを活用した事業コンサルティングとソリューション開発を主軸に、人工衛星の事業への利活用を総合的にサポートして参ります。社外取締役として、民間ロケット開発を行うインターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町、代表取締役社長：稲川貴大、以下「IST」）の代表である稲川貴大氏が参画します。

■ 設立の背景

世界の宇宙市場は年々拡大を続けており、「将来宇宙ロードマップ検討会（KEARNEY 社）」の資料によると、2018年時点で約40兆円規模の市場が2040年には波及効果も含め約160兆円規模になるとの予測がされています。特に、通信衛星のメガコンステレーション（大規模衛星網）化による波及効果が大きく、IoT やインターネット経済の拡大をはじめとする他産業への経済効果が、宇宙関連産業の成長を牽引すると見込まれています。

こうした市場環境の中で、ISC は衛星データ利活用を主軸として、宇宙技術で既存産業を変革する「SX（スペーストランスフォーメーション）」を推進し、既存産業の効率化と課題解決を提供してまいります。

INCLUSIVE と資本提携している IST の代表・稲川氏が ISC の社外取締役として参画することで、IST およびその子会社である Our Stars 社との連携をさらに強化し、企業や自治体に対する衛星打ち上げ・運用支援のサービスも展開していく予定です。

■今後の展開

ISC が展開する事業は下記の通りです。

○衛星データ利活用によるコンサルティングサービス

衛星データプラットフォーム「Tellus」などを活用し、衛星データによる企業、自治体などの既存業務効率化、課題解決を支援

○衛星打ち上げ支援サービス

企業、自治体などによる衛星打ち上げ、軌道投入を支援

○独自衛星運用支援サービス

企業、自治体などによる衛星打ち上げ、打ち上げ後のデータ活用を含む運用を支援

まずは衛星データ活用による一次産業をはじめとした既存産業の効率化・課題解決に取り組み、2024年頃のサービス化を目指して北海道大樹町などで PoC（概念実証）を開始いたします。また、IST が開発中の超小型人工衛星打ち上げロケット「ZERO」の打ち上げ成功後には、企業や自治体による独自衛星の打ち上げと運用を支援するソリューションを展開していく予定です。

■藤田誠のコメント

民間人による宇宙旅行の成功が報道され、宇宙を身近に感じる機会が増えているかと思います。

我々も HOSPO への出資、IST との資本提携などを通して宇宙との距離が縮まっていることを実感いたしますし、これからますます宇宙と宇宙関連ビジネスは身近なものになると確信しています。

ISC を中心に IST、Our Stars、HOSPO との連携をより一層強化し、SX（スペーストランスフォーメーション）の推進によって地上の既存産業の改善に貢献してまいります。

■稲川貴大氏のコメント

宇宙開発には 2 つの役割があります。一つは人類の進歩のための宇宙進出。もう一つは地球上の問題解決のための宇宙利用です。ISC 社はこの宇宙利用の分野で個別の問題解決を多くのパートナーと行っています。ロケットや人工衛星のハードウェアの革新と組み合わせることで圧倒的な価値を生んでいきます。

稲川貴大 (Takahiro Inagawa)

インターステラテクノロジズ株式会社 代表取締役社長

1987 年生まれ。東京工業大学大学院機械物理工学専攻修了。学生時代には人力飛行機やハイブリッドロケットの設計・製造を行なう。修士卒業後、インターステラテクノロジズへ入社、2014 年より現職。経営と同時に技術者としてロケット開発のシステム設計、軌道計算、制御系設計なども行なう。

「誰もが宇宙に手が届く未来を」実現するために小型ロケットの開発を実行。

日本においては民間企業開発として初めての宇宙へ到達する観測ロケット MOMO の打上げを行った。

また、同時に超小型衛星用ロケット ZERO の開発を行なっている。

■ INCLUSIVE 株式会社について

(<https://www.inclusive.co.jp/>)

INCLUSIVE 株式会社は「必要なヒトに、必要なコトを。」をビジョンに掲げ、メディア企業を中心とした事業会社や、クリエイターの DX を推進する「事業開発会社」です。広告関連事業に加え、個人課金事業やメディア関連サービスの SaaS、地域創生関連サービスを展開しています。

直近ではさらなる新規事業の取り組みとして、衛星を活用してあらゆる産業を効率化する「SX」(スペーストランスフォーメーション) を推進しています。

代表者：代表取締役社長 藤田誠

所在地：東京都港区南青山 5-10-2 第 2 九曜ビル 3F

資本金：387,285 千円 (2021 年 9 月末現在)

お問い合わせ先：INCLUSIVE 広報担当

メールアドレス：pr@inclusive.co.jp

<下記、メディア担当者のみへの情報に掲載>

メディア様からのご質問に関しては、より確実にお答えするために広報担当者へのお問合せをお願いいたします。

<メディア関係者 お問い合わせ先>

お問い合わせ先：INCLUSIVE 広報担当 内原

メールアドレス：pr@inclusive.co.jp